

湘南教組2015年度運動方針決定！

～湘南教組第60回定期大会～



湘南教組は、5月13・14日の両日、藤沢市市民会館大ホールにおいて「湘南教組第60回定期大会」を開催しました。大森輝男執行委員長あいさつの後、来賓として神教組執行委員長：芹沢秀行様をはじめ、地域連合、行政、各議員の方々にもご祝辞をいただきました。

ご存じの通り安倍政権は、着々と戦争ができる国づくりを進めており、今国会においては安保法制関連法案の審議が始まっています。組合員からも集団的自衛権の行使容認、なし崩し的に

を進める現政権に対し、今こそ「教え子をふたたび戦場におくるな！」のスローガンのもとに結集し、具体的に行動していかなければならないと、意見をもらいました。湘南教組もこの間、国会前の抗議行動に全分会に動員をかけたり、戦争させない全国署名にとりくんだりしてきました。今後も組合員一人ひとりが現状に危機感を持ち、結集していかなければなりません。また、教科書採択、道徳の教科化など、政治が教育に介入する流れが進んでいます。目の前の子ども達が、政治によって左右され、一定の価値観を押しつけられる流れに対し、私たち教職員がしっかりと反対していく必要があります。



現在、日本は子どもの6人に1人が貧困状態であり、この湘南地区においては児童・生徒の3割が就学支援を受けている学校もあります。子どもの貧困は大人の貧困でもあり、非正規雇用が増える中で国としても対応が迫られています。こうした現状に直接関わりがある教職員としても、課題を把握し、対策をしっかりと考えていかなければなりません。また、私たちの仲間においても臨任、非常勤の非正規雇用が増え、奨学金返済に苦しむ若年層教職員もいます。湘南教組も喫緊の課題と認識し、とりくんでいきます。



今定期大会においては、組織についての意見・質問も多く出ました。学校現場の多忙化、急速な世代交代の中で、湘南教組も現状をふまえてとりくんでいきます。

2015年度 役員体制

執行委員長	佐藤大輔（鶴が台小）		
執行副委員長	角田達夫（七里ガ浜小）	西光美奈子（石川小）	加地敬一（浜須賀小）
書記長	伊東良祐（玉縄中）		
書記次長	松本 豊（大船小）	溝尾昌也（湘南台中）	大村栄樹（一之宮小）
執行委員	伊藤信代（富士塚小）	安宅 修（腰越中）	宮西洋平（植木小）
	吉浦博文（白浜養護）	及川浩子（新林小）	小林佑輔（八松小）
	石塚勝彦（浜見小）	里見 昭（明治中）	大橋恵利子（小和田小）
	井上泰希（東海岸小）	芹沢元明（梅田中）	

今年度は6名が入れ替わり、改めて新体制でスタートします。行き届かない点もあるかとは思いますが、誠心誠意、分会との繋がりをつくっていきたくと思っています。今後とも湘南教組執行部をよろしくお願いいたします。

6月30日

期末・勤勉手当が支給されます！

6月30日支給の期末・勤勉手当は次の通りです。

		支給額		
6月	期末手当	給料×1.225		
6月	勤勉手当	区分	成績率	支給額
		特に優秀	87.5%	給料×87.5%
		優秀	80.5%	給料×80.5%
		良好	73.5%	給料×73.5%
	良好でない	68.5%	給料×68.5%	

6月期末・勤勉手当支給額＝給料×(1.225+成績率)

勤勉手当の成績率に係る評価結果の

開示請求・苦情申出ができます！

評価結果に対する開示（十分な説明を求める）や苦情申出（説明を受けた後も納得がいかない場合に申し出る）をすることができます。これは、私たち学校現場で働く者たちが、人事評価によって不利益を受けないようにするため、恣意的な運用がされないよう検証するために必要な仕組みであり、人事評価の公平性・公正性を求める仕組みでもあります。人事評価に関しての苦情相談は通年できますが、勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示請求・苦情申出には、期間が決められています。

まず、決められた期間内に開示請求をして、説明を受けます。

6月30日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示期間

2015年6月30日（火）から7月7日（火）まで

※学校長に対して評価結果の開示を請求します。



それでも納得がいかない場合には、苦情申出をすることができます。

6月30日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果に対する苦情申出期間

2015年6月30日（火）から7月31日（金）まで

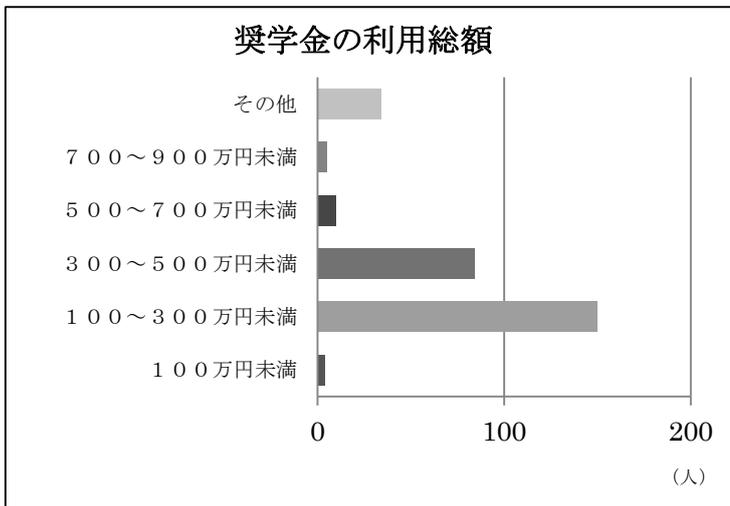
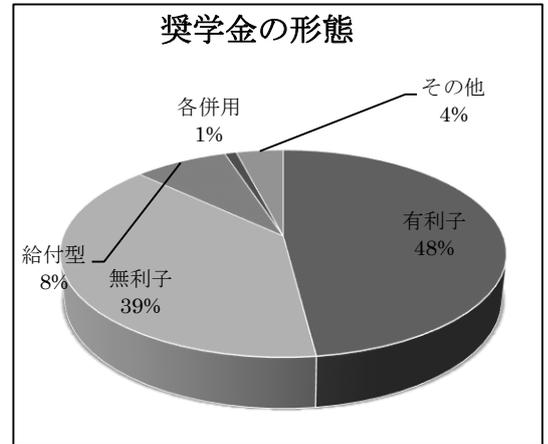
※教育委員会に対して苦情申出をします。第3者に立会人を依頼することができます。

湘南教組は、神教組に対して県教委が人事評価結果における検証・改善をはかるよう求めると共に、市町教育委員会に評価者への制度理解及び検証、評価者研修の充実も求めてきました。今後も、人材育成の趣旨の徹底をはかりながら、制度検証の継続や評価者の理解を、神教組とともに県教委や市町教委に求めていきます。

若年層にアンケートを実施

3人に1人は奨学金を利用

湘南教組は昨年度末、20代30代の若年層の組合員に対し、奨学金の利用状況と育児についての内容でアンケート調査を実施しました。全分会の正規・臨任・非常勤の763名の組合員から回答があり、そのうち287名(37%)の組合員が奨学金を利用していることが明らかになりました。また、172名が子育て中であり、様々な悩みを抱えていることが見えてきました。この結果を踏まえ、組合員の生活の負担を少しでも軽くできるよう、湘南教組は全力でとりくんでいきます。



奨学金利用の増加とその背景

現在、日本では、奨学金を利用する学生が増え続けています。今回のアンケートで回答してくれた組合員も、3人に1人が奨学金を利用したと回答しています。また、そのうちの半数が有利子です。中には総額700万円を超える額を返済しているという回答もありました。これらの背景には言うまでもなく、大人の貧困があります。日本学生支援機構(かつての日本育英会)から奨学金を受けた場合、

以前は大学卒業後に公務員になると返済免除などの措置がありましたが、現在その制度はありません。貧困率の増加や学費の高騰などにより、大学に進学するためには多くの学生が奨学金を利用せざるを得ない状況があります。今後、非正規雇用が増え続け、返済に苦しむ若者が子育て世代になったとき、新たな子どもたちの貧困を生み出すという負のスパイラルに陥り、自助だけで解決できる問題ではありません。

日本学生支援機構(日本育英会)について

日本学生支援機構は、2014年4月、延滞金の賦課率を10%から5%に引き下げました。また、「経済困難」等の事由により受けられる『返済期限猶予制度』がありますが、適用できる年数が通算5年から10年に延長されています。また、経済的な事由などにより一定期間毎月の返済額を減額する『減額変換精度』もあります。詳しくは、日本学生支援機構のホームページ <http://www.jasso.go.jp/index.html> をご覧ください。

湘南教組のとりくみ

湘南教組では、奨学金を返済している組合員の生活を支えるため、少しでも安い金利で借換ができるよう、ろうきんに働きかけてきました。その中で、4月1日より『教育ローンによる借り換え』が可能になりました。詳しくは後日配布します、ろうきんのチラシをご覧ください。利率等大幅な改善に向けて課題はありますが、今後、神教組、日教組、組織内議員とともに、組合員の生活向上に向けてとりくんでいきます。

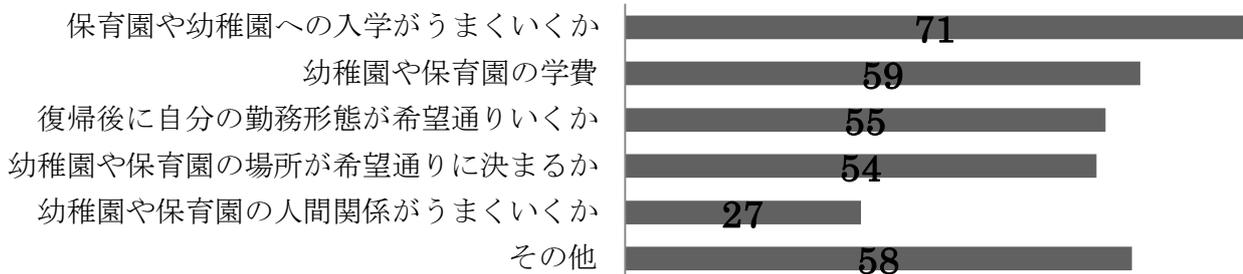
育児休業からの復帰に不安

子育て世代の悩み解消に向けて

湘南教組が昨年度末に行ったアンケートの中で回答のあった20代30代の組合員763名のうち、現在172名が子育て中であり、また様々な悩みを抱えていることが見えてきました。さらに子育てをしながら働く組合員が増えていくことが予想される中で、湘南教組は、組織内議員とも連携し、働きやすい職場を目指してとりくんでいく必要があると考えます。

アンケートの中で寄せられた子育てに関する意見は以下の通りです。

子育てに関して現在および今後心配されること (複数回答)



その他として、「教職員は育児で休業しても復帰できるので恵まれていると思う。」などのプラスの声もありましたが、「病児の面倒を見てくれる制度がもっと充実してくれるとありがたい。」「保育園に通う2人の子どもが別々の園に通っていて、送迎が大変だ。」「保育園の学費がとても高い。」など様々な意見が寄せられました。アンケートに回答して下さった方の約半数が県外出身であり、お子さんが病気になって保育園を休まなくてはならない場合など、近くに親族などの頼れる人がいないということも近年の傾向なのかもしれません。ファミリーサポート（園や学童への送迎や病児の預かりをしてくれる制度）等の各市町の事業でも活用できるものがありますので、詳しくは各市町のファミリーサポートセンターのホームページをご覧ください。

保育園のスムーズな入園に向けて

寄せられた不安の声として最も多かったのが、「保育園や幼稚園の入園がうまくいくか」ということでした。藤沢市においては、待機児童解消に向けて2009年から4年間で900名を超える定員拡大をしています。入所申込者がこれを上回って増加したため、さらに820名の定員増加を計画実行しています。また、幼稚園の「認定こども園」への移行も行っていくことを打ち出しています。認定こども園とは、幼稚園の教育と、保育園のような延長保育などを両方行う施設のことです。認定こども園の拡大が待機児童の解消につながるよう、また、子育てをしながら安心且つ働きやすい職場作りに向けて、湘南教組は、組織内議員とも連携し、引き続きとりくんでいきます。

ファミリーサポートセンター

地域において子育てや介護等の援助を受けた人との援助をしたい人が会員となり助け合う組織です。

育児の援助として

- 保育園や学童などへの送迎
- 保育園の開始前や終了後の預かり
- 保護者の病気や急用時の預かり
- 病児や病後児の預かり

などの援助を行っています。詳しくは、各市町のファミリーサポートセンターか、もしくは女性労働協会のホームページをご覧ください。

「教え子を再び戦場に送るな！」

私たちは、かつて戦争によって多くの大切な命を奪い、また失いました。政府の命令によってもう二度と戦争はしない。同じ過ちをくり返さないと強く誓いました。戦後70年、日本国憲法を大切に、戦争をしない国としてようやく世界の人々から信頼されるようになりました。しかし、安倍政権は日本が守り抜いてきたものを一瞬にしてぶち壊し、再び同じ過ちを繰り返そうとしています。

5月15日から「戦争法案」が衆議院で審議に入りました。衆議院特別委員会では、招致された3人の憲法学者全員が、現在、国会で審議中の安保法制を「違憲」とし、安倍政権に牽制をかけました。にもかかわらず、憲法違反であるといわれている戦争法案を今国会で通そうとしています。国民の声を無視する、憲法を無視する安倍政権を絶対に許すことはできません。

湘南教組は、この動きに反対すべく、教え子を戦争に送らないため、様々な抗議行動に参加してきました。

『平和といのちと人権を！5.3憲法集会』 5月3日 臨港パーク

「戦争立法」など安倍政権による憲法を無視・破壊する「暴走」に協同の力で立ち向かおうと、憲法記念日の3日、横浜市の臨港パークで「平和といのちと人権を！5・3憲法集会」が開催されました。「憲法守ろう」という一点で3万人以上が結集しました。11団体の代表がリレートークをし、立場や違いを超えて、思いをひとつにしました。



『国会包囲ヒューマンチェーン』 5月24日 国会周辺

沖縄の民意を無視した辺野古新基地移設に反対するべく官邸前行動に参加しました。1万5000人が参加し、シュプレヒコールを行いました。名護市の稲嶺進市長から「沖縄の人は孤立していないと、今実感している。勝利を勝ち取るため、私たちの目的を果たすまで力を貸してください。」とのあいさつがありました。沖縄の人と力を合わせ、共に戦おうと誓い合いました。



第65次 湘南教育研究集会

①日時 2015年8月22日(土)
午前の部 9:30 ~ 12:00
午後の部 13:30 ~ 16:00

②場所 藤沢市立湘南台中学校

③参加体制 分会10割(午前、午後のどちらかに参加) *1日参加も可



◎教研までの日程 6月15日(月) 教研テーマ 二次集約 ✕切り
7月10日(金)~15日(水) 教研に向けて統一職場集会
*各係についての指示は7月3日(金)~9日(木)に配布予定
7月16日(木) 発表者・各係 氏名報告 ✕切り
7月30日(木) 発表者(欠席の場合は代理の方をお願いします)
推進委員打ち合わせ
レポート10部 持ち込み
大清水中学校 15:00~

第68回神奈川県教職員スポーツ大会（陸上競技の部）

日時 2015年11月23日（月） 勤労感謝の日

会場 神奈川県立体育センター陸上競技場（善行）

種目 陸上競技（トラック&フィールド）

◇募集について等、詳細については後日お知らせします。

◇弁当は実行委員会で用意します。

◇みんなで楽しく参加できる種目も準備しています。（ムカデ競争・大縄跳びなど）

主催 神奈川県教職員スポーツ大会実行委員会

主管 神奈川県小学校体育研究会・神奈川県中学校体育連盟（予定）

後援 神奈川県内全市町村教育委員会（予定）